

採血における手技・検体処理における 検査データへの影響

講師：三浦 ひとみ 先生

主催 一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

【講演要旨】

検体検査は、臨床診断、治療、経過観察・健診などになくてはならない検査であり、そのためには、採血行為が必要とされます。そのため、検体検査は患者さんからの検体採取、採血から始まるものであり、検査の精度管理もここから管理すべきと考えます。

また、採血は針を刺すという侵襲的な行為を伴うため、採血者の技術や検査の知識だけではなく、患者さんとのコミュニケーション、合併症の対応、感染制御など様々な知識と対応が要求されます。

我々は実際の採血の場においては3分から4分程度の短い医療行為ですが、患者さんからの「ありがとう」「上手だね」「全然痛くなかったよ」などの声を励みに日々業務を行っています。その中には多くの技術や知識が必要とされており、採血の際のコツや採血の手技が検査に与える影響を学び、少しでも日常の採血業務と検査精度の向上を目指していくことが大切と考えます。

【日時】2019年1月26日（土） 午後2時30分～4時40分

【会場】林野会館 6F「604」会議室 【参加費】無料

【講師】三浦 ひとみ 先生〔東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長〕

【定員】70名 （先着順で締め切ります。あらかじめ御了解ください）

申し込み方法

- 1、下記申込書にもれなく記入の上、FAX・郵送で申込。（不備がある場合、受講票を送付できません）
- 2、申込者あて受講票をFAXで送付します。当日、必ずお持ち下さい。
- 3、定員到達後の申込者へは「締切済」通知をFAXで送付します。あらかじめ御了解ください。

2019年1月26日（土）「第143回 医療技術者研修会（三浦ひとみ先生）」受講申込書

勤務先の名称	職 種	氏名（フリガナ付）
勤務先の住所 〒（ ）		
FAX番号 （ ）		

申込先 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町 26-2（財）東京保健会病体生理研究所 医療技術者研修係

問い合わせ用TEL 03(3956)4120

申し込み用FAX 03(3956)4102

講 師

みうら ひとみ

三浦 ひとみ 先生

東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長

略 歴 1986年3月 鳥取大学医療技術短期大学部医療技術学科卒
4月 東京女子医科大学病院勤務 血液検査室配属
2009年3月 日本大学大学院総合社会情報研究科博士前期課程修了(修士取得)
10月 東京女子医科大学病院 中央検査部 技師長
2017年4月 東京女子医科大学病院東医療センター 検査科 技師長 兼務

所属学会等 日本臨床検査医学会 <ISO/TC212 国内検討委員>

日本臨床検査自動化学会 <評議員>

日本医学検査学会

2011年度 日臨技学術奨励賞 優秀演題賞 受賞

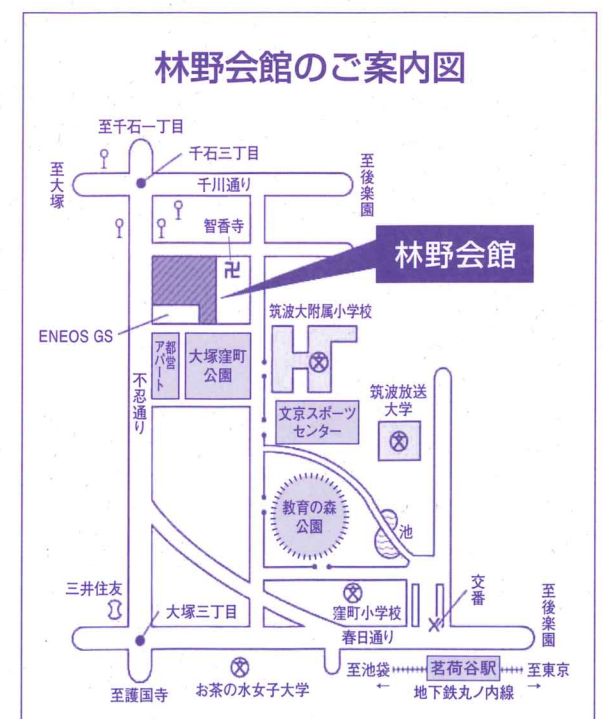
会場案内 林野会館 6F・604 会議室

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-28-7 〔電話〕03(3945)6871(代表)

交通機関

地下鉄丸の内線「茗荷谷駅」から徒歩7分
地下鉄三田線「千石駅」(A4出口)から徒歩12分
地下鉄有楽町線「護国寺駅」(3番出口)から徒歩12分
JR山手線「大塚駅」(南口)から徒歩20分

会場地図



注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、申込書に記載頂いた情報は、本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。申込の内容に関する照会・修正等につきましては左記「医療技術者研修企画係」へ御連絡をお願い致します。